



NRU-east

National Railway Workers' Union

ダイジェスト版 2020年
No.149 11月6日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 大沼 元
編集責任者 常盤 達雄

職場の悩み
相談出来る雰囲気作り、
あとは一言
「さあ国労へ」

11/6 第2回 年末手当交渉 開催!

内部留保のわずか1.6%の活用で 2.6ヵ月+5万円 の支払いは可能!

組合試算でのJR東日本の内部留保は約3兆円!
会社の持続的な発展には、社員・グループ会社社員が
安心感の持てる「人への投資」が重要である!



会社の持続的な発展こそが社員還元のさらなる充実、働きがいの向上、社員・家族の幸福の実現につながっていくという前提に立ち、厳しい経営環境について、あらためて認識を共有することが重要である。

会社は「会社の持続的な発展こそが…」と主張するが、これからの厳しい経営環境の元でも、社員・グループ会社社員の奮闘があってこそ会社が持続的な発展があるのではないかと

組

財務相が10月30日に公表した「2019年度の法人企業統計」(金融・保険業を除く)では、消費税増税や新型コロナウイルス感染拡大などの影響を受けて、経常利益は対前年14.9%減の71兆4,385億円となったが、大企業の内部留保に当たる利益剰余金は、対前年2.6%増の475兆161億円と8年連続の増加となっている。

大企業を優遇するアベノミクスのもとで増えた利益が、賃金や設備投資に回らず、配当金と内部留保に回ったことが明らかである。JR東日本も同様に連結利益剰余金は、この5年間で5,277億円も増加して2兆5,513億円となっている。

年末手当は生活費の一部だ! コロナ感染に怯える 社員の労苦に見合った判断を!